

2026年 3月 29日 《 受 難 週 礼 拝 》

主 日 礼 拝

8時半 / 10時半 / 夜7時

司 会 白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 石井 秀人兄

賛 美 聖歌157番「われいのちを」
～両手いっぱい愛～

詩篇23篇

聖書朗読 ピリピ人への手紙2章1～11節

特別賛美 サラの会

メッセージ 「十字架は世界平和のしるしです！」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌392番「神はひとり子を」

～勝利・感謝・主に栄光～（献金当番：寺澤[政]姉・和田姉）

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 ～喜びがある～ / [大和就任式]

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

☆今週は受難週(金曜日が受難日)です。主の十字架のご愛を霊想致しましょう。

★祈り会：明朝6時、木曜午前10時半(掃除12時)/午後7時半、土曜夜8時。

☆来週はイースター礼拝(司会：白川兄/祈り：政枝姉/献金：千鶴子姉・弘美姉)。

12時半から、教会納骨堂前にて、永井順子姉の納骨式と春の召天者記念礼拝です。

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [3/29-4/5] ☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	ルカ 6:1-26/ ヨシヤ記 5-6	:27-49 /7-8	7:1-23 /9-10	:24-50 /11-13	8:1-18 /14-15	:19-39/ 16-18	:40-56 /19-20	9:1-17 /21-22
チェック	〇/〇〇	〇/〇〇	〇/〇〇	〇/〇〇〇	〇/〇〇	〇/〇〇〇	〇/〇〇	〇/〇〇

「十字架は世界平和のしるしです！」

～イエス様の従順がもたらした絶対的な希望～

「キリストは神の形でありながら、神と等しくあることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の形をとり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで、従順でした。このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました。それは、イエスの御名によって天上のもの、地上のもの、地下のものすべてが膝をかがめすべての舌が『イエス・キリストは主である』と告白して、父なる神が崇められるためです。」

ピリピ人への手紙2章6-11節[協会共同訳]

今週は受難週。今週の金曜日に私たちの愛するイエス様は私たち全人類の身代わりとなって、当時最も苦しい死刑方法である十字架刑でそのお苦しみを経験されました。しかし、主イエス様が最も拒否しなかった苦しみは、父なる神様に見捨てられるという絶望でした。神に見捨てられるほどの苦しみはないということです。ですから、イエス様が究極的な絶望を身代わりに受けてくださったのですから、すべての人に神様の憐れみが注がれています。どんなに見捨てられたような状況であったとしても、そこには希望があるのです。

しかし、私たちは目の前が真っ暗になったというほんの一瞬の経験であったとしても、もう希望がなくなると絶望してしまう存在です。しかし、イエス様の十字架を想うときに、その絶望は消えてしまうのです。このイエス様のお苦しみの結果与えられたことは、すべての人は、父なる神様を賛美できるようになったということです。賛美の人生が与えられているのです。それは、ユダヤ教の人にとっても、イスラム教の人にとっても、また、仏教の人にとっても神道の人にとってもです。そして、世界に平和がやってくるのです。